神奈川と静岡の未来をひらく 伊豆湘南道路

伊豆湘南道路 概要

神奈川県西部地域と静岡県東部地域の圏域は、海・山に囲ま れた豊かな自然環境のもと、多くの観光客が訪れる日本有数の観 光地です。両県を結ぶ主な道路は、箱根越えの国道1号と海岸線 の国道135号ですが、両路線とも行楽シーズン等には慢性的な渋 滞が発生しています。また国道1号は積雪、国道135号は高波等の 自然災害により、たびたび通行止め等が発生するなど、両県を結 ぶ道路環境は大変脆弱であり、観光振興や市民生活に支障をき たしています。箱根周辺の高速道路網としては、北側には東名高 速道路、新東名高速道路がある一方、南側には高規格道路がなく ミッシングリンクとなっています。

これらの課題を打開し、広域的な効果をもたらす道路ネット ワークとして構想されているのが、神奈川県西部地域と静岡県東 部地域を箱根の南回りにつなぐ「伊豆湘南道路」です。

期待される効果

本道路が実現し、神奈川県側で小田原厚木道路や西湘バイパ スと接続され、静岡県側で伊豆縦貫自動車道と接続されれば、日 本の大動脈の東名高速道路、新東名高速道路と並ぶ、まさに「第 3の東名」とも 言える広域的な東西軸が誕生します。これにより利 便性が飛躍的に向上するとともに、沿線都市の発展にも大いに寄 与するものと期待されています。

さらに、近年頻発する豪雨や今後発生が懸念される南海トラフ 地震、神奈川県西部地震等の巨大地震、富士山噴火などの災害 時には、この道路が多くのいのちを守る生命線となります。このよう に、防災、観光、物流、医療等、様々な分野で大きな効果が期待さ れています。

実現に向けた取組

本道路の早期実現を目指し、関係市町等で「伊豆湘南道路建 設促進期成同盟会」を設立し、精力的かつ継続的に国土交通省 等へ要望活動を実施しています。

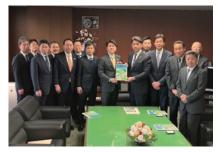
令和6年度には小田原市が会長市となり、期成同盟会の設立後 初めて国土交通大臣と財務大臣に直接面談し、必要性を訴えまし た。また関係市町や経済界等と連携しながら、シンポジウムの開催 等によって地元住民の機運の醸成に努め、いのちを守る伊豆湘南 道路の実現を目指し活動しています。



2018年の台風12号の高波により、国道135号(小田原 市江之浦)で大破した救急車



伊豆湘南道路の構想中の区間。沿線都市の利便性向上 だけでなく、災害に強いネットワークとしての役割も期待 されている。(出典:広報おだわら令和7年8月号)



関連市町と連携した国土交通大臣への要望活動(令和7 年2月)



【伊豆湘南道路PR動画】 これぞ「第3東名」!! 伊豆湘南道路建設促進期成同盟会 (YouTube小田原市公式チャンネル)